

令和7年度使用 中学校の教科書について
採択結果及び調査研究・審議の概要

福岡市教育委員会

1 採択結果

		発行者名	書 名	使用学年
国 語	国 語	光村図書出版 株式会社	国語 1, 2, 3	1～3年
	書 写	光村図書出版 株式会社	中学書写一・二・三年	1～3年
社 会	地 理	株式会社 帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	1～2年
	歴 史	東京書籍 株式会社	新編 新しい社会 歴史	1～3年
	公 民	東京書籍 株式会社	新編 新しい社会 公民	3年
	地 図	株式会社 帝国書院	中学校社会科地図	1～3年
数 学		学校図書 株式会社	中学校 数学 1, 2, 3	1～3年
理 科		東京書籍 株式会社	新編 新しい科学 1, 2, 3	1～3年
音 楽	一 般	教育出版 株式会社	中学音楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3年上 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3年下 音楽のおくりもの	1～3年
	器楽合奏	株式会社 教育芸術社	中学生の器楽	1～3年
美 術		光村図書出版 株式会社	美術 1, 美術 1 資料, 美術 2・3	1～3年
保健体育		株式会社 学研教育みらい	新・中学保健体育	1～3年
技 術 ・ 家 庭	技 術	東京書籍 株式会社	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	1～3年
	家 庭	東京書籍 株式会社	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	1～3年
英 語		株式会社 三省堂	NEW CROWN English Series 1, 2, 3	1～3年

道 徳	東京書籍 株式会社	新編 新しい道徳 1, 2, 3	1 ～ 3 年
-----	--------------	------------------	---------

2 採択までの調査研究・審議の概要

福岡市教科用図書調査研究委員会（以下「調査研究委員会」）において調査研究を行い、報告書を教育委員会に答申した。教育委員会では、答申及び学校長・市民の意見を踏まえて審議し、文部科学大臣の検定を経た教科書から、福岡市の子ども達に最もふさわしいものを選定し採択した。

(1) 調査研究委員会における調査研究の概要

①委員について

学識経験者 5 名、P T A 役員 6 名、校長会会長 4 名、主任指導主事等 14 名、
教育委員会部長級職員 1 名 計 30 名で構成

②開催状況

	開 催 日・会 場	内 容
(公 開) 第 1 回	令和 6 年 6 月 20 日 (木) 9 時 30 分～12 時 福岡市発達教育センター	・調査研究委員の委嘱 ・調査研究の諮問 ・教科用図書採択方針及び調査研究の進め方について説明、質疑
(公 開) 第 2 回	令和 6 年 6 月 25 日 (火) 9 時 30 分～12 時 福岡市発達教育センター	中学校使用教科用図書 ・基礎資料の説明 ・基礎資料をもとに審議
(公 開) 第 3 回	令和 6 年 6 月 27 日 (木) 9 時 30 分～12 時 福岡市発達教育センター	中学校使用教科用図書 ・基礎資料の説明 ・基礎資料をもとに調査及び審議
(非 公 開) 第 4 回	令和 6 年 7 月 2 日 (火) 9 時 30 分～12 時 福岡市発達教育センター	特別支援学級及び特別支援学校使用教科用図書 ・基礎資料の説明 ・基礎資料をもとに調査及び審議
(二 部 非 公 開) 第 5 回	令和 6 年 7 月 9 日 (火) 9 時 30 分～12 時 福岡市発達教育センター	中学校使用教科用図書 ・基礎資料の説明 ・基礎資料をもとに調査及び審議 ・審議のまとめ ・調査報告の答申

(2) 教育委員会会議における審議の概要

①審議状況 【公開で実施】

開催日	内容
令和6年7月22日（月）	・調査研究委員会の報告書、学校・市民意見等の説明 ・審議の進め方の確認、質疑
令和6年8月9日（金）	・調査研究委員会の報告書等を踏まえ審議
令和6年8月22日（木）	・審議のまとめ ・投票により教科書を選定、採択

※教科書見本の展示会は次のとおり開催。学校・市民の意見はすべて教育委員会会議に提出。

- ・学校展示会（学校対象の展示会）：令和6年5月20日～6月14日 中学校等市内6会場
- ・法定展示会（一般対象の展示会）：令和6年6月14日～6月28日 教科書センターに指定している市内5会場

3 採択理由

- 採択された教科書については、福岡市教育委員会が策定した「令和7年度使用教科用図書採択方針」にある「各教科共通の観点」及び「教科の観点」の内容において、満足できるものとなっている。具体的には次に示すとおりである。

種目	採択の理由
国語	<各教科共通の観点について> ・各単元において、学習の進め方と学習内容や身に付けるべき力が見開きページで整理されており、生徒が一見して見通しをもって学習を進められる。また、問題解決に役立つ思考方法が巻頭に図示されており、主体的・対話的で深い学びを促すことができる。 <国語科の観点について> ・様々な言語活動ができるよう準備されている。各単元で身につけるべき力を明示し、それを学習過程のどこで生かすかが示されており、言葉による見方・考え方を働かせながら、言語能力の育成ができる内容となっている。また、様々な語句や描写を系統的に整理した「語彙ブック」が設けられており、表現する上での参考になる。
書写	<各教科共通の観点について> ・学習の手順や説明が記載されているとともに、実寸大の手本が多数収録され、挿絵、写真、図等も学習が深まるよう、有効に配置されている。「書写ブック（硬筆練習帳）」が別冊で付いており、多様な学習形態に対応できる。左手で書く際の道具の置き方が掲載され、配慮がみられる。また、ユニバーサルデザイン書体を取り上げられ、多様性を認め合うような学習が展開できる。 <書写の観点について>

	・硬筆、毛筆ともにバランスよく配置されている。様々な作品例や書式例が示されており、各教科等の学習活動や、日常生活に生かす書写の能力を育成できる内容になっている。
地理	<各教科共通の観点について> ・各単元末の学習の振り返りにおいて、白地図を用いて知識・技能を確認し、思考ツールを用いて学習内容を整理する構成になっており、言語活動や問題解決学習の充実が期待される。また、生徒がSDG sを含め地域的・地球的課題の解決に向けた視点を養い、よりよい未来を構想するためのヒントを得ることができる構成になっている。さらに、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが効果的に配置されている。 <社会科（地理的分野）の観点について> ・単元の導入で「課題追究で注目する視点」に関連する写真を見開きで大きく取り上げており、生徒が課題を主体的に追究、解決していく一助となることが期待される。また、各見開きページの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、そして単元末の「学習を振り返ろう」というように、問いが構造化され、単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、生徒が課題解決的な学習を自ら進めることができる構成になっている。
歴史	<各教科共通の観点について> ・導入及びまとめのページに「みんなでチャレンジ」が設けられ、主体的・対話的な学びに取り組むことができる。また、各章のまとめでは、思考ツールを活用し考え方を整理することで、課題解決学習を進めやすくしている。さらに、「導入・展開・まとめ」の学習段階に応じて学びのシーンに合ったデジタルコンテンツが随所に配置されており、学習を広げることが可能である。 <社会科（歴史的分野）の観点について> ・単元を貫く問いを「探究課題」として設定し、章ごとに課題解決の補助的な問い、1時間の授業では「学習課題」が設定されており、生徒が「見方・考え方」を用いて課題解決に向かうことができる内容である。また、学習過程に適宜「見方・考え方」を働かせる視点のマークを設けることで、課題を主体的に解決できるように工夫されている。
公民	<各教科共通の観点について> ・各章のはじめに、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」があり、探究課題の設定場面对話形式でわかりやすく提示され、探究のステップを設けることで、主体的・対話的で深い学びが促されるように配慮されている。また、資料の中で、生徒個々の意見として互いに相反する意見や多面的な考えを交流する場面が見られる。さらに、持続可能な社会の実現に向けて、現代的な諸課題を理解し、その課題解決に向けた態度を養う構成である。 <社会科（公民的分野）の観点について> ・現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能について、資料の読み取り方や収集の方法などを発達段階に応じて定着できる内容である。また、より良い社会の在り方について構想することで、具体的に解決策を考えることができ、知識・技能や思考力・判断力・表現力を活用して、積極的に社会参画し、他者と協働しながらより良い社会を築こうとする態度を養えるように工夫されている。
地図	<地図の観点について> ・立体的に捉えやすい資料を使用し、地図活用の技能を身に付けさせるための問いかけがあるなど、地理的技能を身につけることができる内容である。また、主題図が項目を揃えて作成されており、世界の諸地域については、自然、産業、生活・文化、歴史的背景等を大観できるようになっている。日本の各地方については、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業の地域間の結び付き等を捉えることができ

	る。さらに、日本全体の主題図が世界との比較の中で示されており、日本の地域的特色を大観できる内容である。
数学	<各教科共通の観点について> - 主体的に疑問を発見して話し合いの中で問題を解決する場面を設けており、生徒の主体的な学びと協働的な学びを一体的に実現することが期待できる。図が大きくできるだけページの外側に配置しており、生徒にとって、教科書上の作図や書き込みがしやすいレイアウトである。 <数学科の観点について> - 身のまわりや数学の学習の中から数学的活動を効果的に繰り返す展開を設けており、生徒にとって数学の楽しさや学び方がわかるとともに、問題解決の力が身につくことが期待できる。他者にわかるように説明するには何が必要かを考える場面を設けており、生徒が数学的表現を用いて説明する機会を効果的に展開することが期待できる。
理科	<各教科共通の観点について> - 探究の過程を矢印でつないだ「学びのライン」で探究の流れを分かりやすくしている。さらに、各単元に「じっくり探究」の節を設定し、「問題発見」から「活用」までの探究のしかたを意識して学習できる工夫がされており、深い学びを促している。つまづきやすい内容には「例題」とその考え方や「ここがポイント」を示し、生徒が自学自習する際に役立つよう配慮されており、さらに解消に効果的な説明動画を併用している。 <理科の観点について> - 理科の見方・考え方をファシリテーターキャラクターとともに具体的に示していることで学びを深める理科の見方・考え方がはっきり見える工夫がされてある。実験・観察では生徒自ら安全に実施できるよう、注意をしっかりと示してあり、さらに手順動画や基礎操作の資料も適切に配置してある。探究の過程に直結した活動のたくさん配置することで、思考力、判断力、表現力が自然に育成できるように工夫している。
音楽 一般	<各教科共通の観点について> - 生徒が実感や親しみをもって学習を進められるように、体験的活動が取り入れられている。随所に問題解決的な項目が設定され、他者と協働し、主体的・対話的な活動が促されるよう紙面構成されている。 また、学習内容を深めるための動画や音源等のデジタルコンテンツが、学習のねらいに則して配置されており、効果的に情報を収集・活用できる。 <音楽科の観点について> - 創作の活動では、創作過程がワークシートとともに示され、即興的に音を出しながら音を音楽へと構成していくうえでの手順が簡潔で分かりやすい。また、郷土福岡の伝統音楽を含む、我が国各地の様々な伝統音楽が、指導のねらいに照らして適切な教材を選択できるよう、取り上げられている。我が国の伝統音楽と、アジア・世界の国の様々な音楽とを関連づけたり比較したりして取り上げており、音楽の多様性や類似性を考えさせることができる。
音楽 器楽 合奏	<各教科共通の観点について> 説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で学習の深まりに有効に働くよう配置されている。特に楽譜は全体的に見やすく、和楽器(箏)においては、縦譜や唱歌が多く掲載されており、和楽器固有の記譜や練習法が重視されている。 <音楽科の観点について>

	・和楽器の学習では、我が国の伝統的な音楽文化の理解という観点から適切な教材を選択できる内容になっている。特に、導入として各楽器を用いた鑑賞曲が取り上げられており、表現と鑑賞とを関連させた指導を充実させることができる。
美術	＜各教科共通の観点について＞ ・作品解説や作者の言葉が示されており、言語活動の充実を促す配慮がなされている。また、作品の見方や感じ方が明確になるように「POINT」として提示され、主体的で対話的な深い学びにつながるよう配慮されている。発想や構想を練りたい場面で、絵画に線を入れたりコメントを書き込んで共有したりできるアプリは、分析力をより一層高める手立てとなっている。 ＜美術科の観点について＞ ・「みんなの工夫」には、生徒の見方や考え方が見える化された資料が掲載されており、表現及び鑑賞に関する資質能力を相互に関連させる学習の充実が図れるよう工夫されている。全体のイメージや作風などの理解を促すために、和紙を用いることで浮世絵の素材感が感じられ、多様な視点で浮世絵の作風をまとめられた資料が掲載されており、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成することができるような内容になっている。
保健 体育	＜各教科共通の観点について＞ ・各単元、「ウォームアップ」で課題の発見をして、「エクササイズ」で課題の解決をして、「学びを生かす」で実生活に生かすという順番で構成されており、基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が行いやすい内容となっている。また、課題解決や、学びの活用の際に、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。 ＜保健体育科の観点について＞ ・「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」という場面で、生徒が普段の生活や経験、学習した知識や情報を基に、考えたり、調べたり、話し合ったりすることができる内容が充実している。また、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができ、生徒が健康で豊かな生活を送るための実践力の育成につながる内容が工夫されている。
技術	＜各教科共通の観点について＞ ・主体的・対話的で深い学びにつながる活動として「考えよう」「やってみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」などが多く設定されている。「まとめよう」「振り返ろう」「深めよう」の活動では、学んだことを振り返ることができる内容になっている。巻末の「学んだことを将来に生かす」では、技術分野の学習を発展的に広げることができるようになっている。 ＜技術・家庭科（技術分野）の観点について＞ ・問題解決例のページが、問題解決のプロセスに沿った構成であるため、主体的に問題解決に取り組むことができるようになっている。「TECH Lab」では基本的な知識及び技能を習得することができるようになっている。「問題解決の評価、改善、修正」において、一連の流れが分かりやすい内容になっている。「技術の匠」では職業が紹介され、職業観・勤労観を育むことができるようになっている。
家庭	＜各教科共通の観点について＞ ・生徒が興味・関心をもって学習を進めていくことができるような図や資料が多数掲載されている。「話し合ってみよう」や「考えてみよう」では、生徒の対話的な学習や深い学びが促されるように配慮されている。また、資料として思考ツールの例があり、問題解決力を高める工夫がされている。 ＜技術・家庭科（家庭分野）の観点について＞

	・巻頭の Warm up ページに課題解決の流れが示されている。さらに、学習の流れが目標、はじめの活動からまとめの活動で統一されており、問題解決が促されるようになっている。また、様々な方へのインタビュー、地域との具体的な接触場面など、連携を図るよう配慮した内容になっている。また、「生活の課題と実践」のページでは、課題解決の流れ、発表の仕方の例が載っており、学びを生活に生かす流れになっている。
外国語	<各教科共通の観点について> ・学習者用デジタル教科書において、各単元の導入で便利な資料動画が豊富にある。英和辞典機能がある他、AI によるモデル文の発音チェック機能があり、生徒が自主的に学習に取り組むことができる。 <外国語科の観点について> ・各小单元の中で、短い会話から新出文法事項の使い方を導入し、運用したのち、本文の読解に進む流れになっている。单元の中では文法事項を最小限にとどめ、单元末でイラストを用い、文法をわかりやすく説明している。单元末のまとめ活動や自己表現活動において、動画やスクリプトを見て内容を理解し、その表現を使って自分の伝えたい表現ができるように、丁寧なステップが設定されている。また巻末のロールプレイシートを使い、場面をイメージしながら自分の伝えたいことを表現することができる。
道徳	<各教科共通の観点について> ・生徒が興味・関心をもちやすい教材が多く見られ、生徒の興味・関心を大切にした学習ができる内容となっている。生徒の学びが深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配列されている。教科書に記載された二次元コードから、教材に関連したワークシート、朗読音声に加え、資料、動画、VR、思考ツールなどを活用できるよう工夫されている。 <道徳科の観点について> ・「みつめよう」で人間としての生き方について深く考え、巻末に学期ごとの記録用紙や小学校で学習した教材を掲載してあり、生徒が自らの成長を実感できる内容になっている。生徒が考えを交流しやすいよう具体的な話し合いの例示が掲載されている。様々な社会的課題についての内容が多く掲載されている。